

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



協働のまちづくり
見通し良く安全な通学路を
須木永田地区住民ら清掃活動



通学路の除草作業をする参加者。また、地元住民の憩いの場である公園の整備も行われました

小・中学生の通学路になっている道路やその周辺を整備し、交通事故などの防止につなげようと、6月27日、須木の永田地区で清掃活動が行われました。住民からなる「永田地区やっちえみろ会」や地元消防団員ら30人が参加し、事前にパトロールした危険箇所などを中心に草刈りなどを実施。永田区長の河野雄二さんは、「地元住民の力で環境整備をし、安心して暮らせる地域づくりを目指していきたい」と話していました。



官民共働
来年1月に暮らしの便利帳発行
(株)サイネックスと協定を締結

官 民協働による「小林市暮らしの便利帳」の共同発行に係る協定を、株式会社サイネックスと、7月4日に締結しました。市役所の窓口情報や防災情報、公共施設などの生活情報に加え、観光や特産品などの情報も掲載。来年の1月に、2万2000部発行し全世帯に無料で配布します。また、製作費は、広告収入でまかなうため市の負担はありません。9月から10月に、暮らしの便利帳発行



防犯・防災
九州一安心安全なまちへ
垣根を越え、思い一つに

九 州一安心安全なまちを目指す取り組みの一環として、警察・消防・消防団・市役所の4者による意見交換会が、6月26日、市役所で行われました。小林警察署河野憲彦署長、西諸広域消防本部野間和則消防長、市消防団芝原靖彦団長や、肥後市長ら13人が参加。肥後市長は「真に安心安全なまちをつくるには、組織を越えた横断的な取り組みが必要。皆さんの意見を聴きながら課題を解決していきたい」と思いを語りました。



交通、防犯、火災、災害や高齢者対策など、現状と課題を出し合い、情報を共有した意見交換会

のための広告を集めるため、(株)サイネックスが各事業所を訪問する予定です。



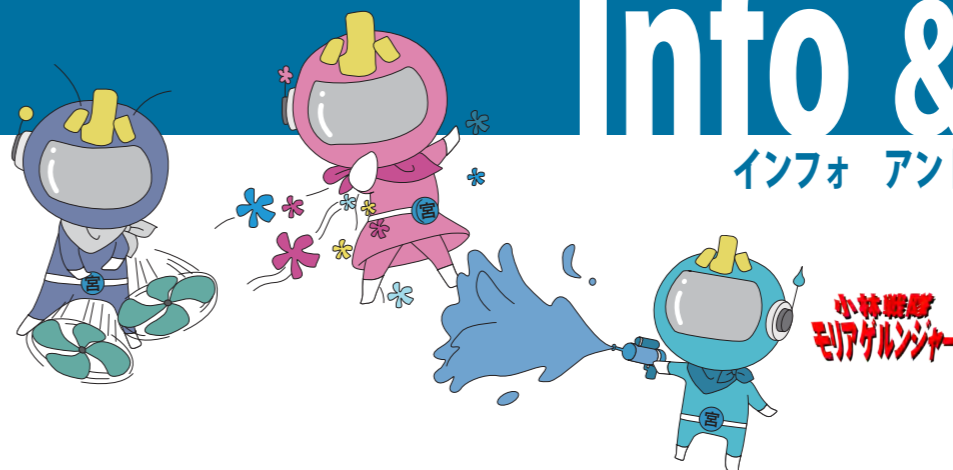
協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

小林警察署
リアゲルンジャー も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校3年生 海蔵楓寧さんが(当時・永久津中3年生)小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然(花、星、水、虫)がモチーフになっています。



認知症対策
認知症患者の生活を支える
コスモス手帳説明会開催



説明会には約98人が参加し、記入や活用の方法などを説明。ケアパス導入は県内で初めてです

認知症ケアパス「小林市コスモス手帳」の説明会が、6月25日、中央公民館で開催されました。この手帳で、医療機関、福祉施設や薬局などが認知症の症状や治療、薬などの情報を共有し、認知症の人と家族の生活を支えていきます。市認知症支援ネットワークの内村大介会長は、「認知症の人とその家族を含めさまざまな場面でとても役立つものになっているので活用してもらいたい」と話していました。



市民活動
障がい者の自立を支援
NPO法人「心」が設立

障 がいのある人たちの自立支援・福祉的支援や啓発活動などを行う「心」(河野美穂子理事長・10人)が、特定非営利法人の認証を受けました。6月25日、認証書交付式が市役所で行われ、「心」の役員や関係者ら9人が出席。肥後市長から河野理事長へ認証書が手渡されました。河野理事長は「地域の方々の理解をいただきながら、障がいのある人や家族が安心して通える場所を作り上げていきたい」とあいさつしました。



認証書を受け取る河野理事長。細野に事務所を構え、地域密着のサービスを提供していきます